



防災カフェ

地震から 身を守るために

日本では、多くの被害を出した関東大震災を教訓とするべく、関東大震災の発生日である9月にさまざまな啓発活動等が行われています。

地震は、「いつ、どこで起きるのか」を予測することはできないので、日頃からの対策が身を守るうえでとても重要になります。以下、主な注意事項について記載しますので、参考にしてください。

地震の揺れで家具などが倒れ、その下敷きになってしまったり、ドアがふさがれて逃げられなくなることもあります。倒れるおそれがある家具などには転倒防止の金具や支え棒などを取り付けたり、家具の上に重いものを載せないようにしましょう。また、たとえ転倒しても下敷きにならず避難路を確保できる位置に家具を配置しておくことや、下敷きになった際に居場所を知らせるホイッスル、飛散したガラスや食器の破片などによるケガを防ぐための運動靴やスリッパなどを、身近な場所に準備しておくことも大切です。

地震が発生した際には、①低い姿勢をとり、

②身体（特に頭部）を守り、③揺れが収まるまで動かない（安全行動の1-2-3）などの行動により、まずは地震の揺れや落下物等から身体を守ることが重要です。揺れが収まった後は、通電火災やガス爆発などを防ぐ処置を行いましょう。避難する時、また周辺の安全が確認できるまではブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めておく、また軽易に火を使わないようにすることも大切です。

芦別での過去最大震度は4ですが、芦別周辺の断層帯を震源とする地震が発生した場合には、震度6程度の揺れが想定されています。「今まで…だから大丈夫」は通用しません。自分や家族の身を守るため、地震に対する対策を日頃から行っておきましょう。

●詳細 危機対策係 ☎27-7058



芦別消防団員を募集しています

芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。

年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば性別を問わず入団できます（高等学校在学中のかたは入団できません）。



消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の捜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。

地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106

住宅防火・防災キャンペーン

敬老の日に
「火の用心」
の贈り物を

近年の全国での住宅火災による死者数は、1,000人前後の高い水準で推移しています。このうち約7割が65歳以上の高齢者で、今後更なる高齢化の進展に伴い、住宅火災における高齢者の死者数の増加が懸念されます。

これを踏まえて、高齢者を中心とした住宅火災の死者数の低減を図るため「敬老の日に『火の用心』の贈り物」をキャッチフレーズに、改めて高齢者に火災予防を注意喚起するため、住宅防火・防災キャンペーンが9月1日(水)から21日(火)まで実施されます。この機会に、祖父母や両親に住宅用防災機器をプレゼントしてみたいかたは、いかがでしょうか。



火災から身を守るためには、「早く知る」「早く消す」「火を拡大させない」ことが重要となります。火の不始末に注意するのはもちろん、住宅用火災警報器や住宅用消火器等を設置して、命を守りましょう。また、住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあるため、とても危険です。10年を目安に交換しましょう。

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106